



グローバルCOEプログラム

境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2013年度・前期
道民カレッジ連携講座

土曜市民セミナー

共
催



北海道大学スラブ研究センター



北海道大学総合博物館

北海道大学大学院文学研究科芸術学講座

Images of the border

境界のイメージ

シコタン・グループの活動について

講 師 | 谷古宇 尚^{や ころ ひさし} (北海道大学大学院文学研究科)

シコタン・グループ (1966-1991年) : 色丹島や国後島を訪れ、火山や入り江といった特徴的な風景、水産加工場やそこで働く労働者たちをモチーフに絵画制作を行ったグループ。その活動は1960年半ばからソ連邦崩壊まで続いた。リーダーのオレグ・ロシャコフをはじめ、モスクワや沿海地方(ウラジオストクとウスリースク)出身の画家、20名以上から成る。

ユリー・ヴォルコフ『色丹島の女の子』▶

色丹島の斜古丹(マロクリリスク)には、湾に面して大規模な水産加工場があった。工場と労働者は、ソ連時代の公式的な様式である社会主義リアリズムの重要なモチーフである。夏の繁忙期には、ソ連の各地から若い女性労働者がやってきた。シコタン・グループの画家たちは、彼女たちとの交流も描いている。



4月20日(土)

13:30~15:00

北海道大学総合博物館 1 階「知の交流」コーナー

入場無料 | 申込不要 | 定員60名

*定員を超えますと立ち見となる場合がございます。

本セミナーに関するお問い合わせ先



北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局

TEL : 011-706-2380/4809 E-mail : gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp

<http://borderstudies.jp>

北海道大学総合博物館



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

TEL : 011-706-2658 <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

関
連
展
示

GCOE 第8期展示

「知られざるクリル・カムチャッカーロシアから見た境界のイメージ」展

●会期 1月25日(金)~5月26日(日)

●会場 北海道大学総合博物館 2階 GCOE 展示ブース

